

会長挨拶

圓月 勝博

会員の皆様におかれましては、長引くコロナ禍の中でも、変わることなくご研究に邁進しておられるものと敬意を表します。本年8月末日を締切とする論集の紙面には、いかなる苦難にも屈することのない17世紀英文学研究者の心意気を示す論考が溢れ返ることを楽しみにしております。

昨年度は、十分な準備ができず、残念ながら、全国大会を中止せざるを得ませんでした。今年度は、是が非でも全国大会を開催する所存です。万一、実施方針が二転三転するようなことがあれば、会員の皆様のご予定にも支障を生じる恐れがございますので、開催実現のために万全を期して、9月19日(日)にオンラインで全国大会を実施することを決定させていただきました。また、近年、秋学期開始前後の土曜日に各種校務を予定する大学が増えてきたようですので、今年度は日曜日開催とすることも、できるだけ多数の会員にご参加いただくための新たな試みとして、併せてご理解いただければ幸いです。

オンラインの功罪については百家争鳴ですが、地理的制約がなくなって、地域格差が解消されますので、3支部すべてが公平に学術交流活動の恩恵を享受することを基本方針としてきた本学会としては、その利点を積極的に追求したいと思います。諸般の事情で、これまでは居住地から遠く離れた全国大会に参加が果たせなかった会員の皆様も、今年度のオンライン全国大会には、ふるってご参加くださることを心から願っております。

感染症の恐ろしさを体験することになって、1665年のロンドンのペストが一般読者の方々にも注目されることになりました。この17世紀イギリスの感染症を実際に体験したドライデンは、災厄に心を痛めたチャールズ2世が次のような言葉で神に祈ったことを『驚異の年』の中で描いています。

O let it be enough what thou hast done

コロナ禍の一刻も早い終息と会員の皆様のご息災を願って、チャールズ2世の祈りに唱和し、今年度のご挨拶に代えさせていただきます。

1. ホームページおよびツイッターのお知らせ

当学会のホームページ(HP) は金星堂のご協力のもとに学会 HP 委員が運営・管理しております。

<http://www.kinsei-do.co.jp/S17CEL/>

「会員による新刊情報」や「会員による最新研究情報」などの HP 掲載データは年 2 回更新します。原則として 4 月末に各支部事務局、11 月末にホームページ委員が、掲載データを取りまとめます。研究業績を内外に知らせる良い機会となりますので、最新データの提出にご協力をお願いいたします。

また、学会ツイッター（十七世紀英文学会（公式）@S17CEL）ではホームページよりも早く最新情報を掲載しています。フォローおよび最新情報のご確認を随時お願いいたします。

教員公募情報受け付けおよびツイッター配信のお知らせ

学会ツイッターでは、国公立私立の大学、短大、それに準じる教育・研究機関から当学会に寄せられた英語英文学関係専任職の公募情報を配信しております。情報をお寄せいただいた順に、大学の公募ホームページあるいは研究者人材データベース（JREC-IN）へのリンクを掲載いたします。掲載を希望される場合には、本部事務局宛てにメールにて応募締め切りとともにお知らせください。なお、ウェブサイトへのリンクがない場合は、PDF データを添付ファイルにてお送りください。

2. メールでのお知らせについて

本部事務局から各支部事務局のメーリングリストを通じてお知らせを配信することがあります。支部事務局からのメール連絡が届いていない方は、各支部事務局の担当者にメールにてお知らせください。担当者は本 Newsletter 末尾に記載されております。

3. 編集委員会からのお知らせ——論集第 20 巻について

現在、論集第 20 号『十七世紀英文学における病と癒し』（*Sickness and Healing in Seventeenth Century English Literature*）の刊行に向けて準備を進めておりますが、すでにお知らせのとおり、論集編集委員

会および事務局で協議をし、下記のとおり論文投稿期間の延長と刊行予定の延期を決定いたしました。

投稿締め切り：2021年 8月31日

刊行予定：2022年 5月上旬

会員の皆様からより多くの投稿を募るために投稿期間を延ばすこととし、それにもない刊行予定日も延期いたします。刊行は来年の日本英文学会全国大会の開催に合わせたいと存じます。

送付先： 各支部編集委員宛（問い合わせは、下記 Eメールでお願いいたします。）

東北支部： 梶 理和子 rkazi[アットマーク]yachts.ac.jp

福士 航 fukushwa[アットマーク]tscc.tohoku-gakuin.ac.jp

東京支部： 岩永 弘人 iwan[アットマーク]nodai.ac.jp

宮本 正秀 masheep_00[アットマーク]yahoo.co.jp[編集責任]

関西支部： 山本 真司 sya[アットマーク]aoyamagakuin.jp

西川 健誠 kenseini[アットマーク]yahoo.co.jp

「編集規定」をは以下のとおりです。2016年度の総会での承認を受けて、「執筆料」および文字数超過に対する「追加料金」についての項目が追加されております。

なお、今回も次の3点について、会員の皆様にご理解をお願いいたします。

1. 執筆者は**5冊**ご購入のこと。
2. 執筆者以外の会員は、**各人 1冊**ご購入のこと。所属大学図書館でのご購入も積極的にご検討ください。
3. 金星堂のテキストをできるだけご採用ください。

十七世紀英文学会論集編集規定

1. 寄稿論文は未発表のものであることを原則とする。ただし、既発表の論文でも、編集委員会において本論集に収録することが望ましいと判断されたものは、この限りではない。
2. 原稿は **A4 横書き**とし、長さは註を含めて日本語の場合 **16,000 字**、英語の場合 **8,000 words 程**

度であること。「引用文献」(Works Cited)は字数から除く。書式は**48 字×22 行**に設定すること。なお、英語論文については、英文のネイティブ・チェックを事前に必ず済ませていること。また投稿原稿は WORD のファイル形式とし、各支部編集委員宛に電子メール添付で送付するものとする。なお校正は、必要最小限の訂正しか認めないので、完全原稿で投稿のこと。

3. 図版・写真などは、著作権に関する問題がなく、またもし費用が生じる場合は執筆者が自己負担することを前提として、掲載を認める。なお希望者は、事前にその旨、所属支部の編集委員に伝えること。
4. 文献引用法その他書式の細目については、Joseph F. Trimmer. *A Guide to MLA Documentation: With an Appendix on APA Style* (ジョゼフ・F・トリマー『MLA 英語論文作成ガイド補遺・APA 方式』丸橋良雄&日高真帆共訳、英光社、2011 年)あるいは、最新版 *MLA Handbook for Writers of Research Papers* に則るものとする。また、下記の点に留意すること。
 - (ア) 和文の場合、原則として引用文には邦訳を付ける。(邦訳のみでもよい。)
 - (イ) 引用は 3 行以上にわたるときは、本文から分離する。
 - (ウ) 注は末尾にまとめる。注番号は、本文・後注ともアラビア数字とし、括弧で囲む。後注番号の次は 1 コマあける。
5. 投稿の際、編集委員宛の電子メール本文に、氏名、現在の所属ならびに連絡用の住所、電話番号、ファックス番号、電子メールアドレス、そして日本語論文の場合は英文タイトルを記載すること。
6. 論集原稿の採択および編集は、編集委員会の責任において行うものとする。
7. 執筆者は従来通り買い上げ 5 冊に加えて、執筆料 1 万円を支払うこととする。ただし、学生会員には執筆料を課さない。また、字数は超過しないことが原則だが、万一超過した場合については、追加料金を課す。

4. 全国大会・総会について

今年度の全国大会（第 9 回大会）および総会は、2021 年 9 月 19 日（日）にオンラインにて開催いたします。詳細は Newsletter 第 2 号、学会ウェブサイト、各支部メーリングリストなどでお知らせいたします。ふるってご参加いただきますよう、よろしくお願いいたします。

5. 会計報告（速報版）

2020年度の会計報告を以下に記します。会員の皆様には会費納入へのご協力をお願い申し上げます。

2020年度（2020年4月1日～2021年3月31日）

収入		支出	
前年度からの繰り越し	545,672	通信・事務費（封筒・切手・振込手数料）	14,696
会費収入 東北支部	48,000	HP更新費用	39,600
東京支部	144,000		
関西支部	84,000		
論集第19号執筆料	20,000		
全国大会懇親会余剰金	54,500		
郵便貯金利子	2		
計	841,674	計	54,296

次年度繰越金 787,378円（2021年4月28日）

*正式な会計監査付きの資料は総会資料としてあらためて配布いたします。

6. 担 当

- * 本部事務局：伊澤 高志
- * 本部会計：松田 幸子
- * 東北支部事務局：川崎 和基
- * 東京支部事務局：松山 響子
- * 関西支部事務局：松本 舞
- * 学会ホームページ委員：大久保 友博

十七世紀英文学会規約

(名称)

- 1 本会は十七世紀英文学会と称する。

(目的)

- 2 本会は十七世紀英文学の研究を促進し、あわせて会員相互の連絡をはかることを目的とする。

(会の活動)

- 3 本会に本部と支部を置く。各支部は年数回の談話会等を開いて会員の発表・報告を聞き、研究情報等を交換する。

(2)本部は総会を開いて重要事項を決定すると共に「ニュース」「論集」等の編集刊行をする。なお、「論集」編集規定は別に定める。

(3)各支部は相互交流のために、年一回、談話会等に他支部所属会員を招聘することができる。その際には、本部会計より旅費（一律2万円）を補助するものとする。

(会員)

- 4 入会希望者は、各支部または本部に申し込んで会員となることができる。

(会長)

- 5 本会に会長をおく。

(2)会長は会員の互選により総会で決定する。

(3)会長の任期は2年とする。再任は妨げないが、再任は1回限りとする。

(顧問)

- 6 本会に顧問をおくことがある。

(2)顧問は会員の総意により総会において委嘱する。

(組織および会の運営)

- 7 本会は会長の他に次の役員をおく。

本部幹事若干名 支部幹事各2名

編集顧問 編集委員若干名 会計監査2名

(2)本部幹事は会員の互選により総会で決定し、支部幹事と合議の上で本会の運営にあたる。

(3)支部幹事は各支部で選出し、本部に報告する。支部幹事は支部の運営の他に本部との連絡にあたる。なお、本部幹事と支部幹事が重複することは差支えない。

(4)編集顧問は編集委員会が委嘱する。

(5)編集委員は、当分の間、各支部より2名選出するが、東京支部は3名とする。編集委員は編集会議を開き、「ニュース」「論集」等の編集にあたる。

(会計)

8 本学会の経費は会費、寄付金その他の収入をもってこれにあてる。

(2)会費は年額、本部会費3,000円、各支部会費（東京支部500円（学生会員を除く）、関西支部2,000円（学生会員を除く））とし、あわせて支部に納入する。本部会費3,000円は各支部により本部へ送付するものとする。

(3)本部会計の決算報告は翌年度の総会において行なう。

(4)会計年度は4月1日に始まり、翌年3月31日までとする。

(5)本部会計は本部幹事がこれを統括し、会計監査がこれを監査する。

(規約の発効)

9 本規約は1984年5月12日より発効する。

(規約の改正)

10 本規約は改正の要が生じた時は総会おいてはかる。

1988年5月21日一部改正／1989年5月20日一部改正／1996年5月25日一部改正／2010年5月29日一部改正／
2013年5月24日一部改正／2017年4月1日一部改正／2018年4月1日一部改正／2018年9月8日一部改正